

CMOP-E

～ 概念の理解 ～

福岡リハビリテーション病院
田代 徹



カナダモデルのイメージ



カナダモデルのイメージってどんなイメージですか？

代表的な意見としては、

COPM！！

評価方法として捉えている人も多いと思いますが・・・

COPM

Canadian Occupational Performance Measure

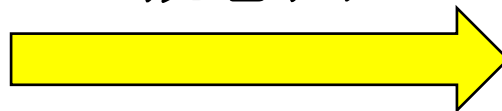
1990年にMary Lawたちによって誕生
作業療法の「質の保証を考える」活動の中で開発された
クライアント中心の実践（来談者中心療法）



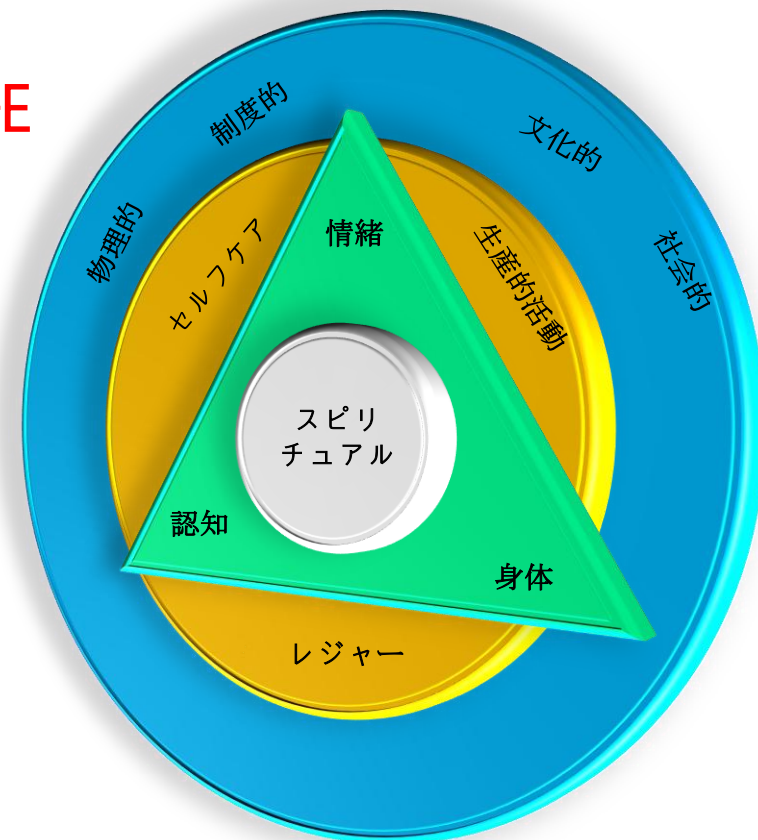
評価法



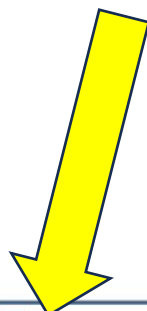
概念図



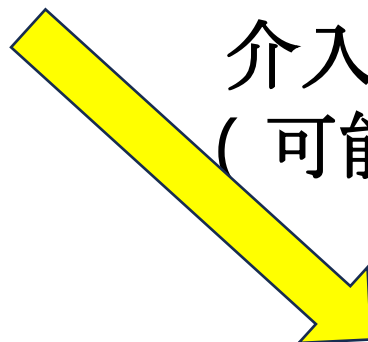
CMOP-E



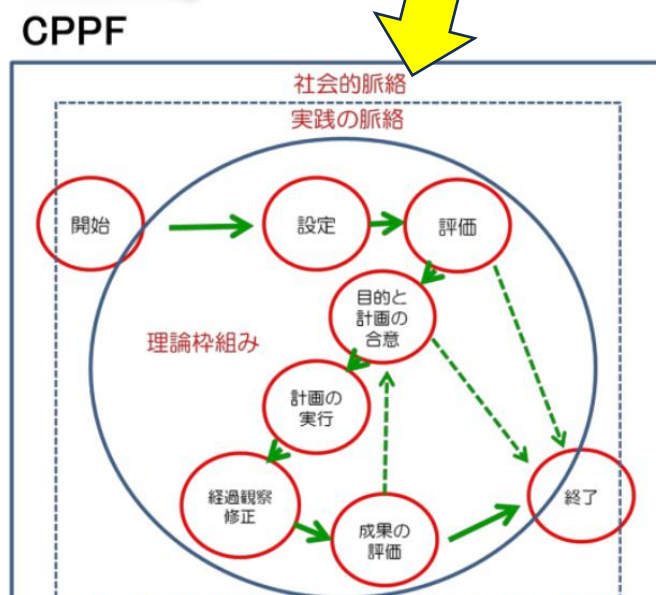
介入プロセス



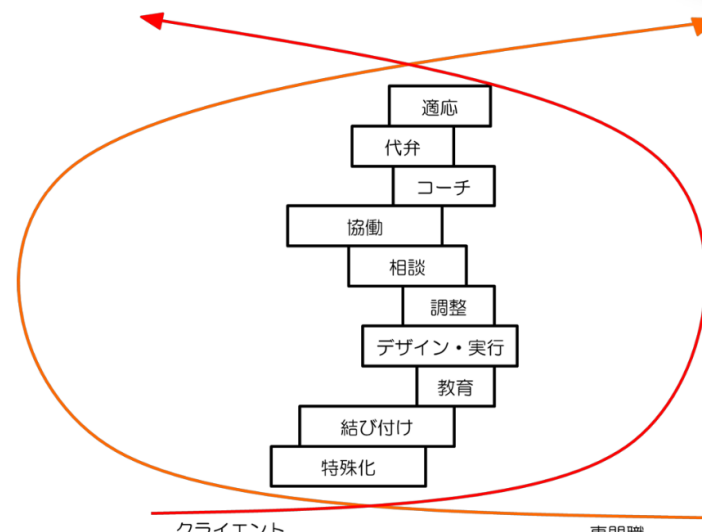
介入方法 (可能化)



CPPF



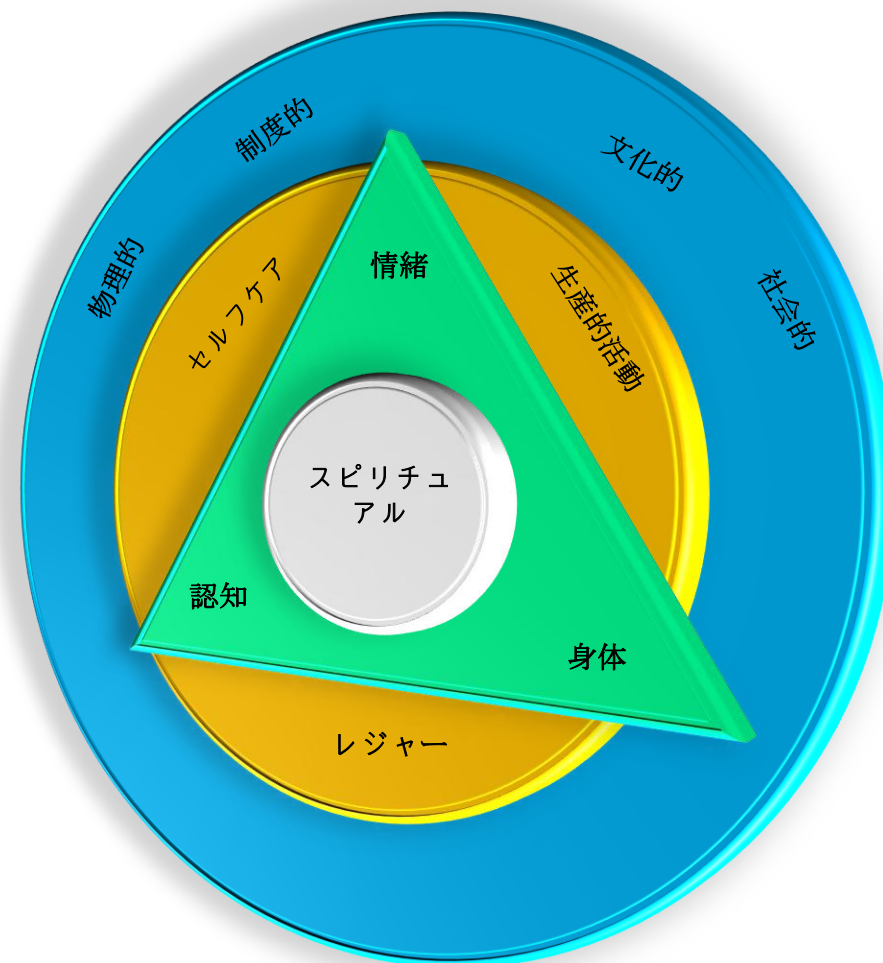
CMCE



CMOP-E

作業遂行と結びつきのカナダモデル

Canadian Model of Occupational Performance and Engagement

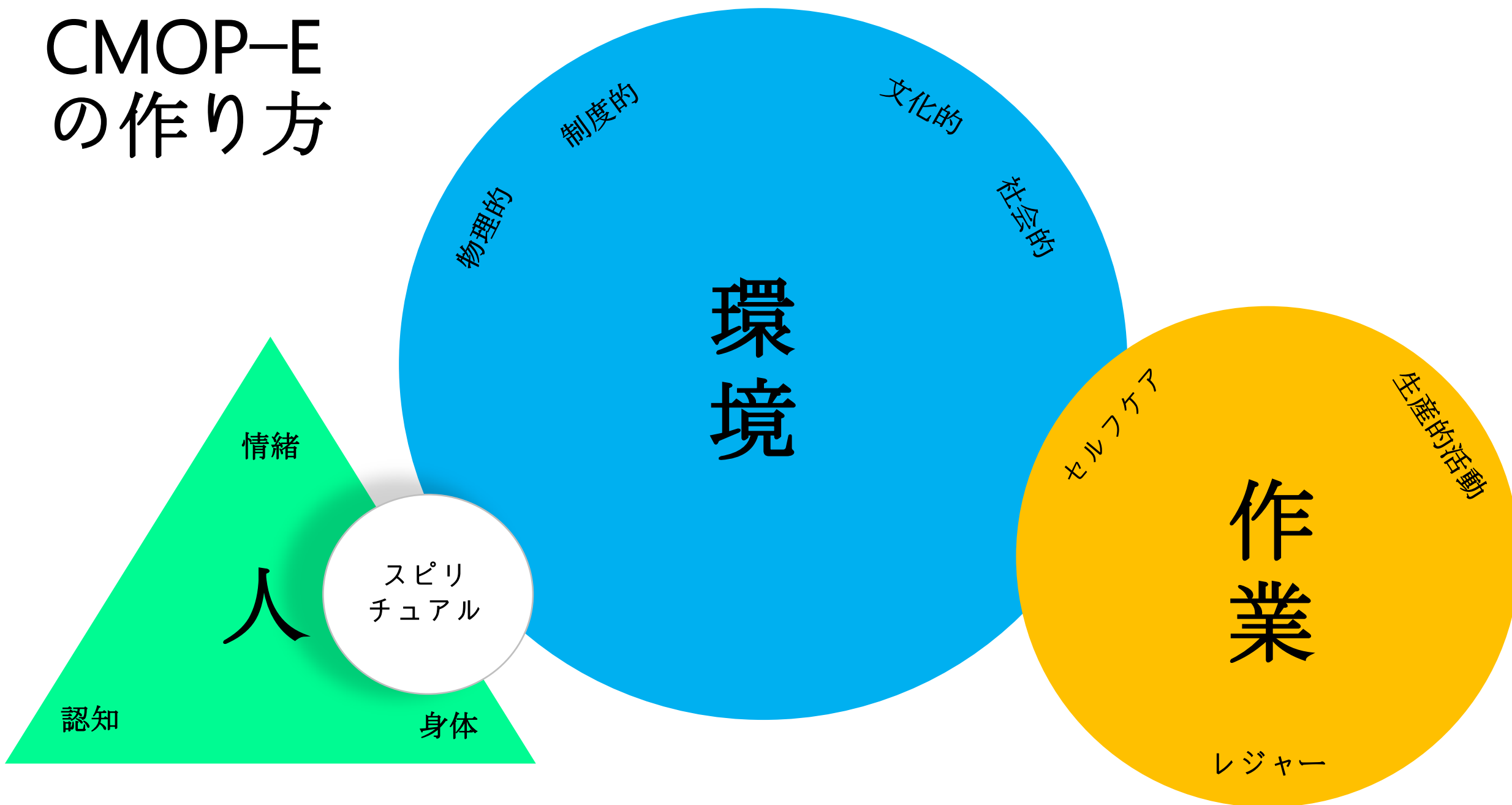


CMOP : 作業遂行とは人 - 環境 - 作業の相互作用を表したもの .

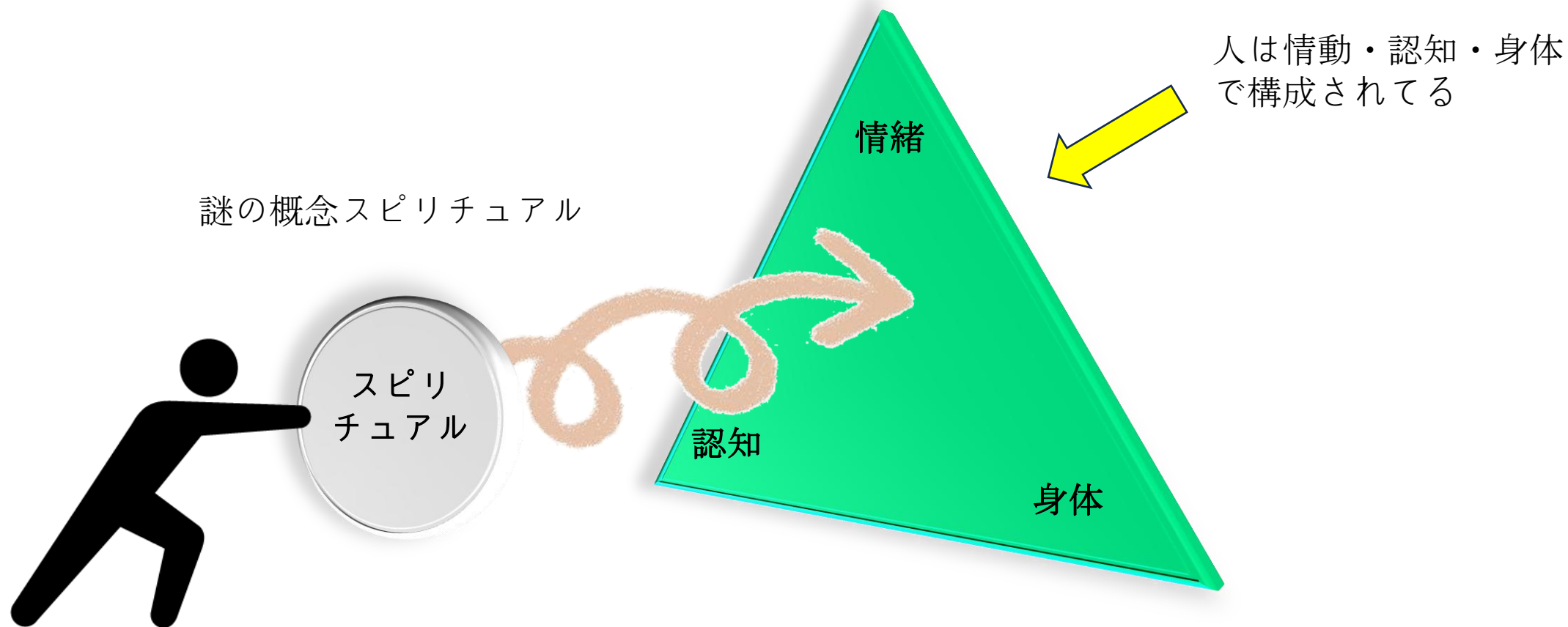
CMOP-E : 作業に直接かかわらなくとも「**作業と結びつくこと**」も含む .

⇒広い視野で作業を捉えている !

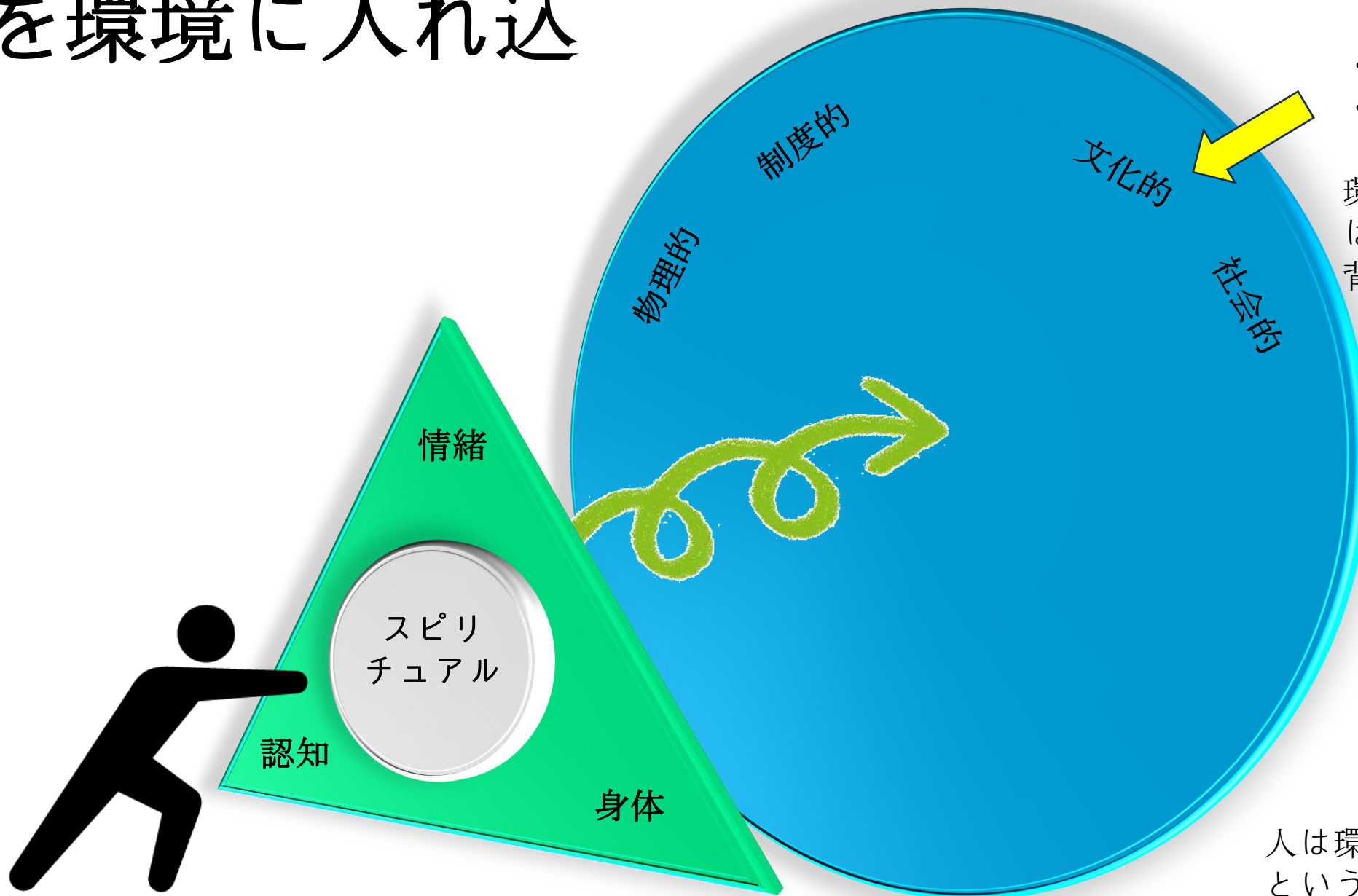
CMOP-E の作り方



スピリチュアルを人に入れ込む



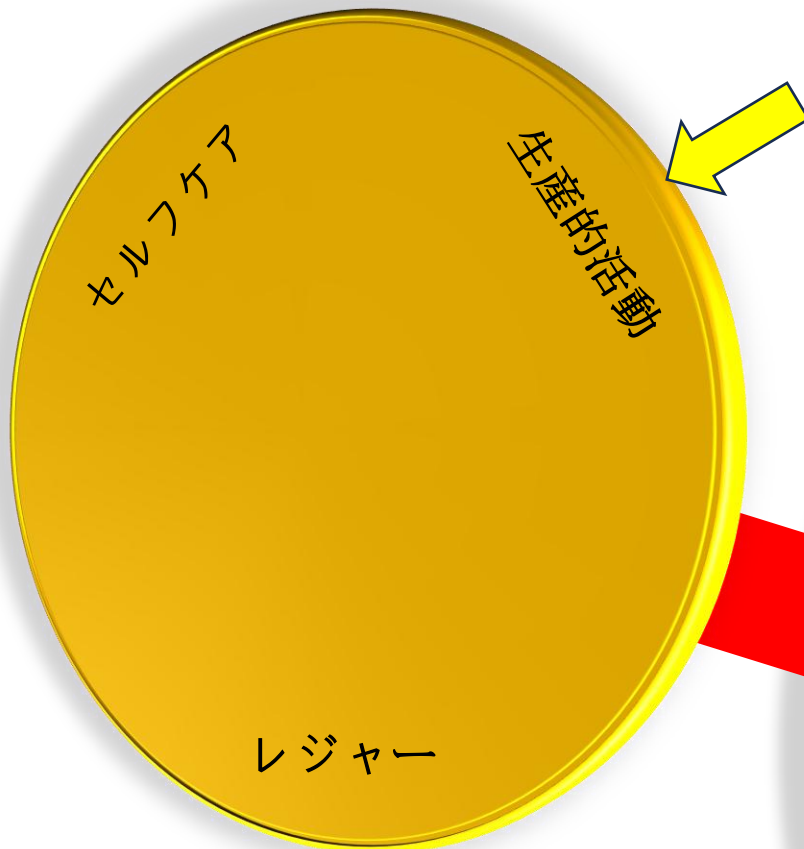
人を環境に入れ込む



- ・ 物理的 ・ 制度的
- ・ 文化的 ・ 社会的

環境の概念が広いのは作業的公正という背景もあるから

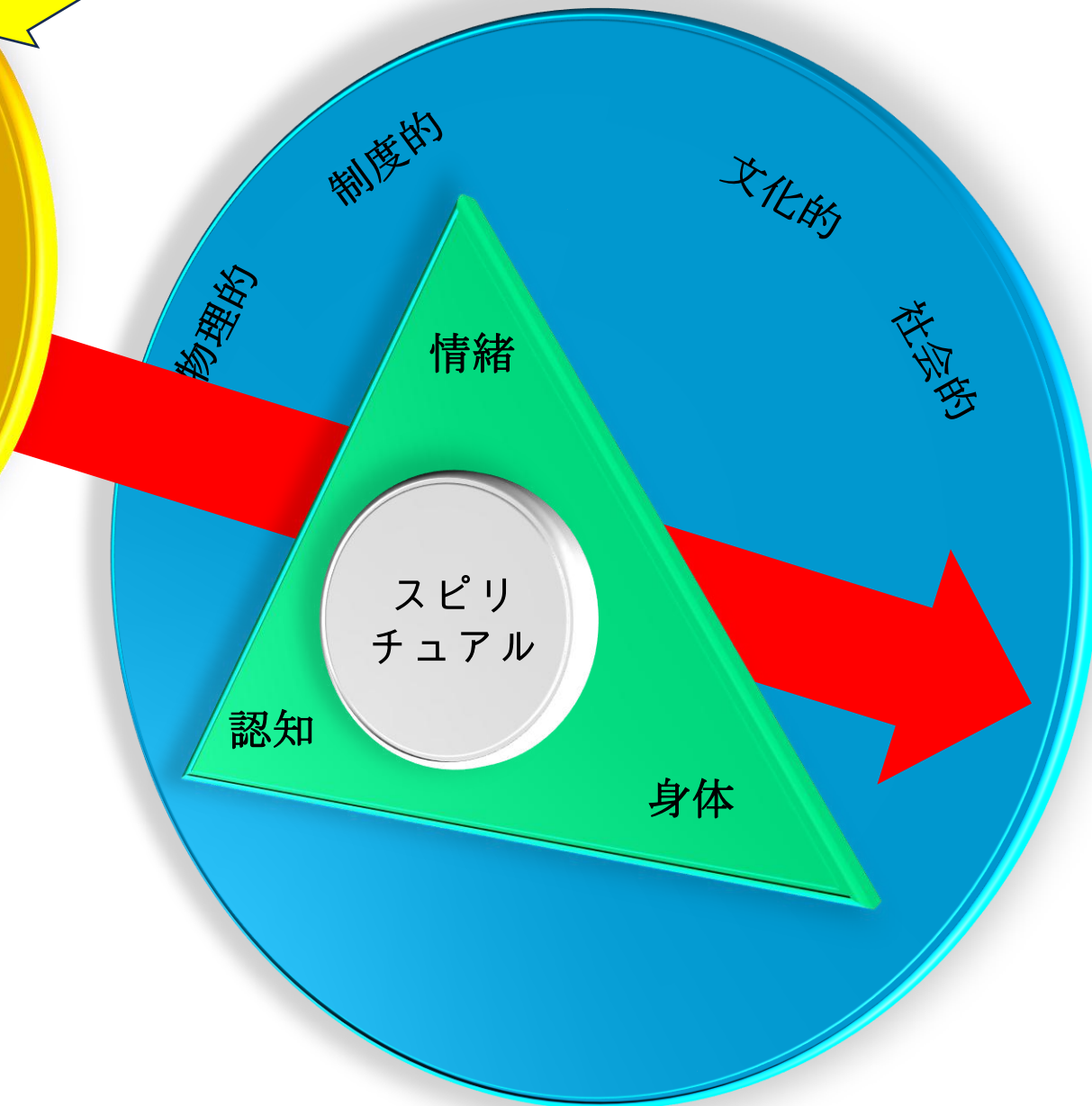
人は環境の中に存在するという位置付け



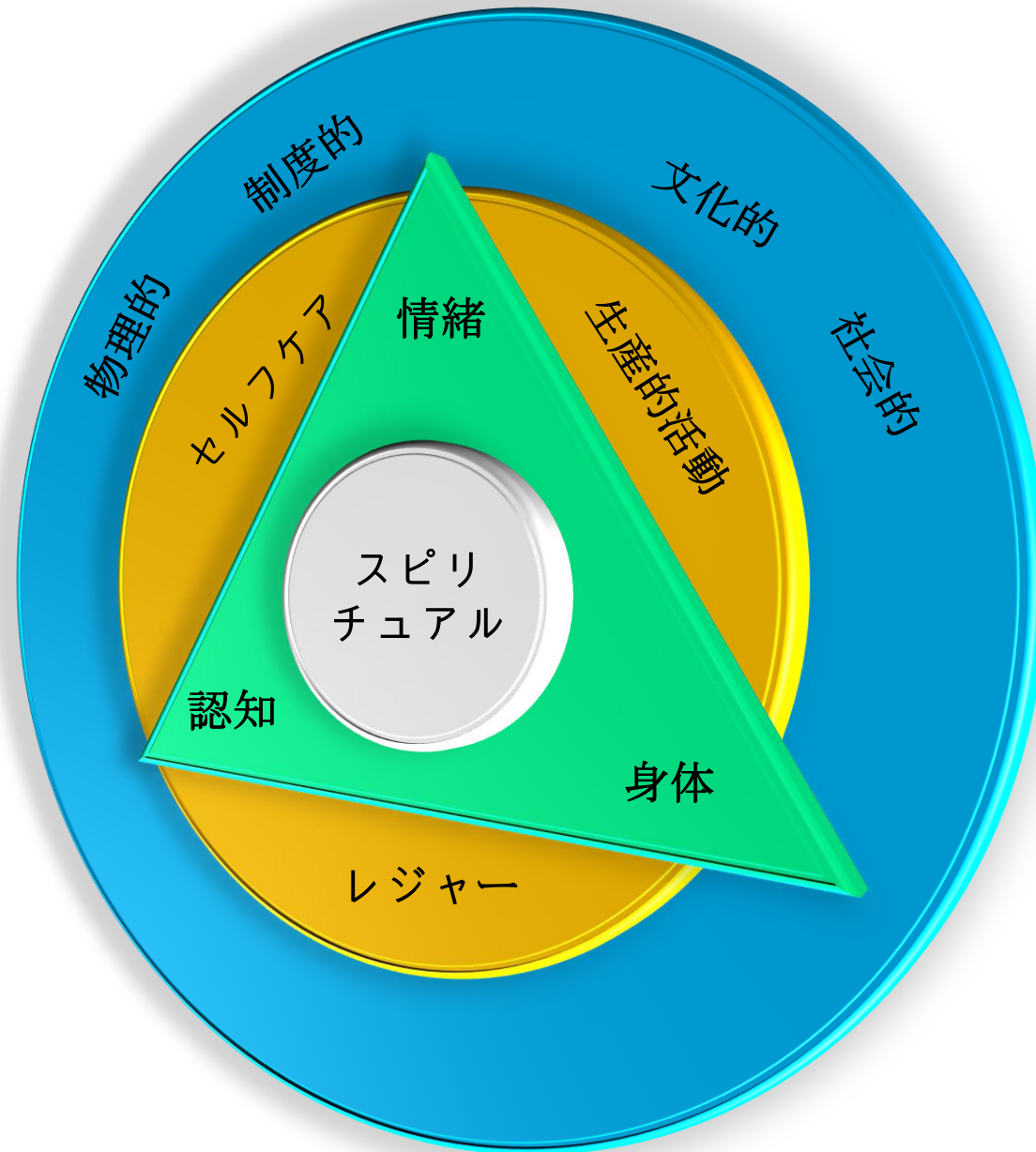
作業はセルフケア・生産活動・レジャー
という3つのカテゴリーに分かれる

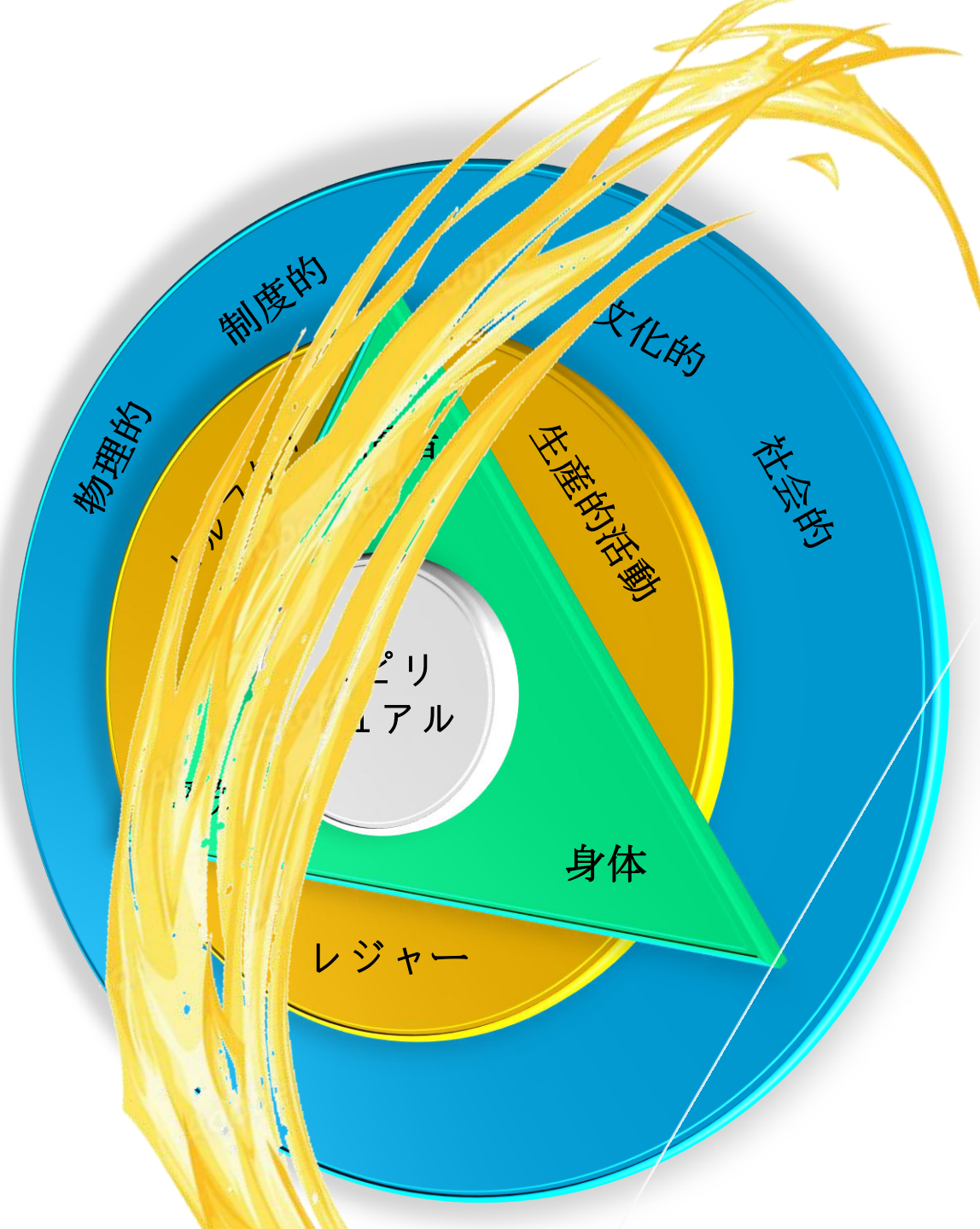
人が環境の中にいると、そこに作業が発生する。
「作業は人と環境をつなぐ」

人と環境の間に作業
を滑りこませる



完成！！

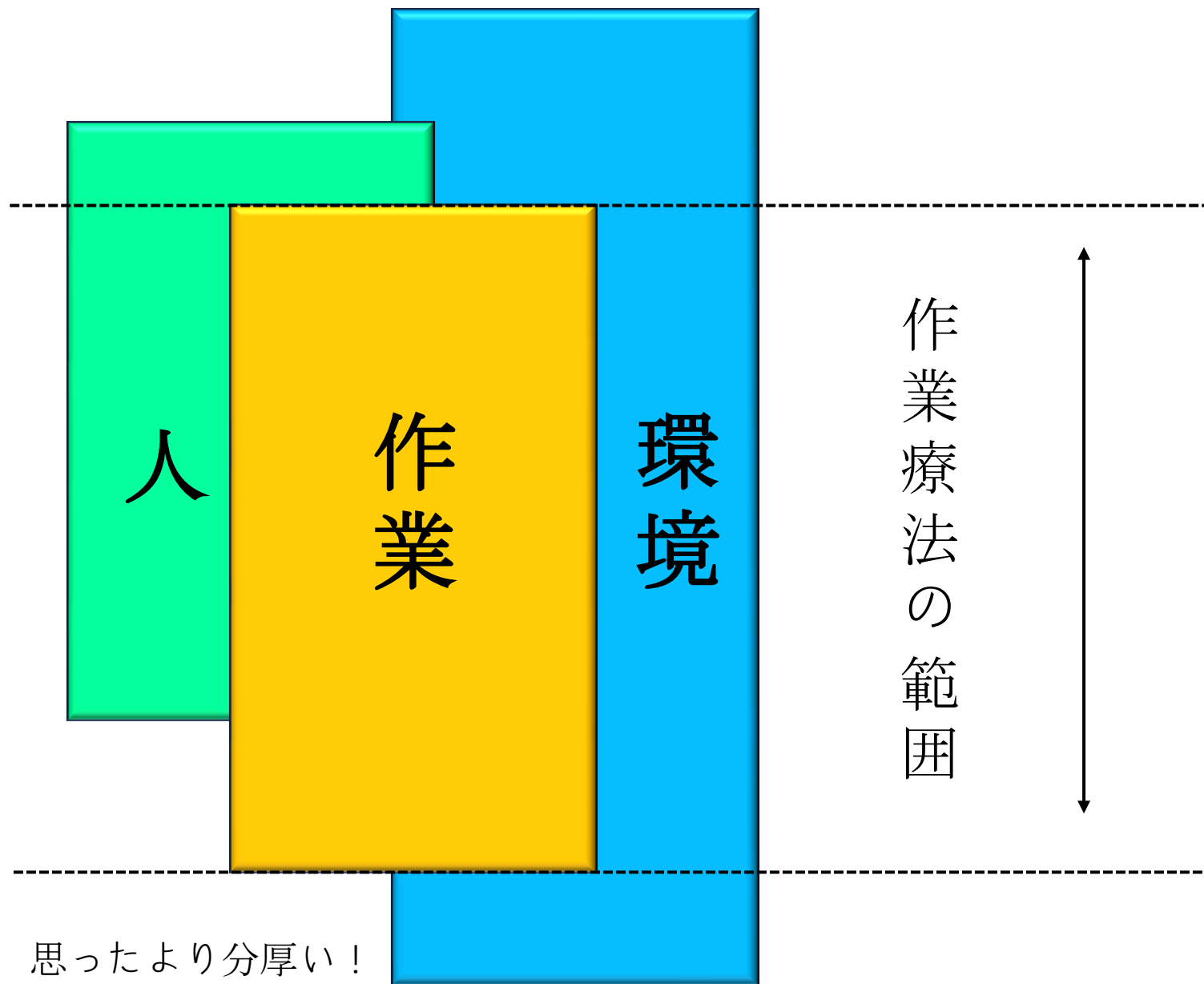




この図を半分に
切ります



(断面図)

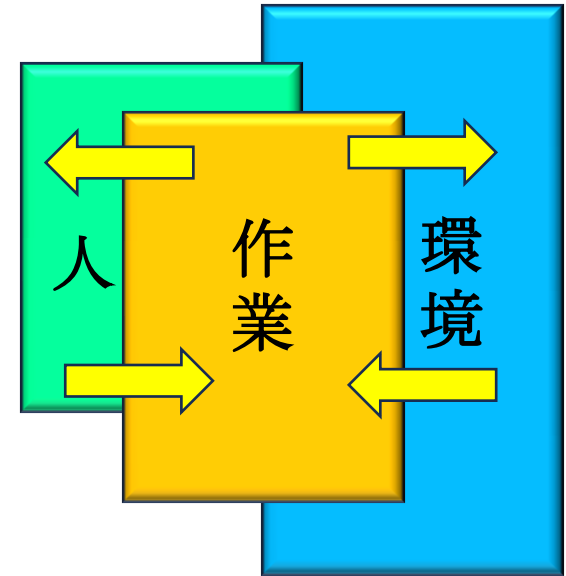


CMOP-Eの意義

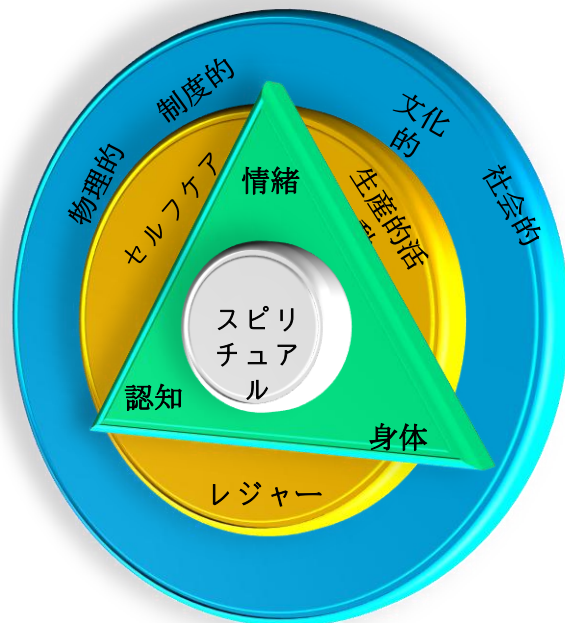
- ① OTの関心の3つの核を図式化したこと（人・環境・作業のダイナミックな相互作業であることを表している）
- ② 作業が興味のある中心にある（断面図）
- ③ OTの関心を人と環境に絞った

作業との結び付き

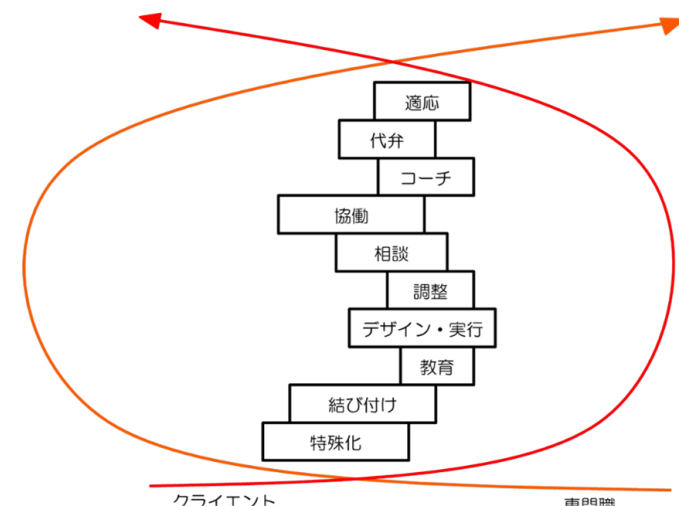
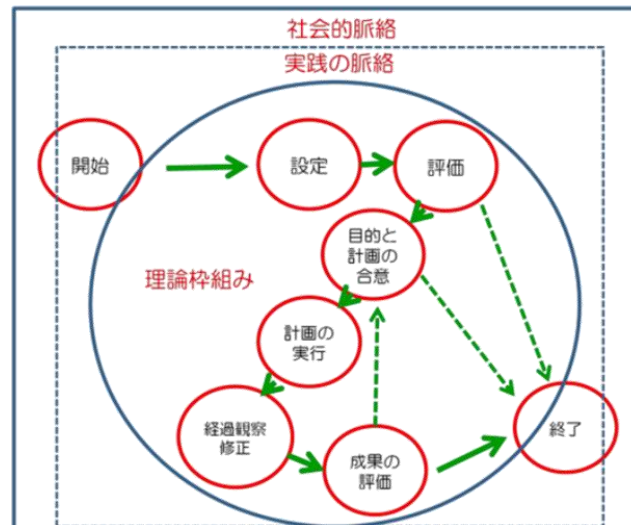
結び付き = Engagement



- 遂行は「始めてから完了までやり遂げること、行うこと、必要に応じて行動をとること」という意味で、視野が狭くなる。
- 結びつきは広範な意味を持つ語で、「自分自身が関わる、専念する」
参加するために行う全てのことである。
- 作業療法士は、作業との結び付きの潜在性と可能性に関心を持ち、それは人－作業－環境の相互作用によって生じると考えている。



CPPF



作業の可能化 (Enablement)

可能にする (enable)、あるいは可能化 (enablement) は、可能性を作り出すこと、何かになるため、あるいは何かをするために力や能力を想像すること

事例紹介



- 年齢：60代 男性
- 診断名：パーキンソン病

「側彎が良くなればね・・・」

「まっすぐ歩けるようになりたい・・・」

「妻にあまり迷惑はかけたくない」

面談

妻・本人・Thでの面談

妻「やっぱり夜のトイレが・・・」

トイレにこもったら2時間くらい出て
こないこともある

(トイレ前の廊下で寝ることも・・・)

結果トイレから動けなくなり、
妻に電話してきてもらう

(深夜でも・・・)



COPM

COPM	重要度	遂行度	満足度
夜間トイレに行きやすくなる	8	2	1
夜間起き上がりやすくなる	8	4	3

- 妻・本人が納得するよう2人の同意の上で点数を決定。
- 介助量の軽減を目標とする事となる。



アプローチ

単純ですが・・・

時間誘導！！

- ①時間帯（朝・昼・夕）の時間表を作成。
- ②決めた時間にトイレに行ってもらう。
- ③トイレに行った時間を記入してもらう。
- ④次のリハで、本人・妻と成果を確認する。



結果

COPM	遂行度		満足度	
	初期	再評価	初期	再評価
夜間トイレに行きやすくなる	2	6	1	5
夜間起き上がりやすくなる	4	6	3	4

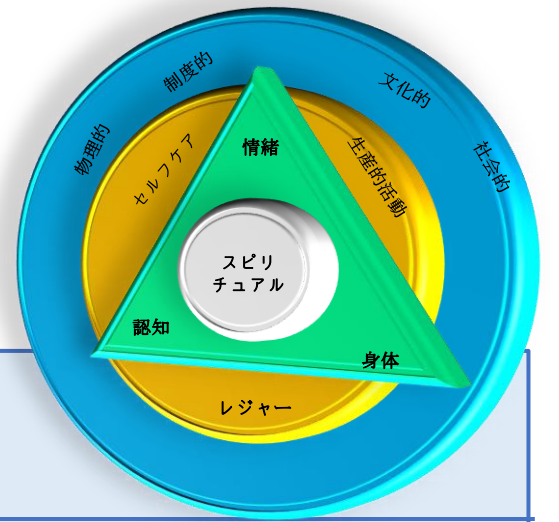
トイレにいる時間が短くなった。

妻「バッチリです」

本人「あきらめがつきました（トイレ）」

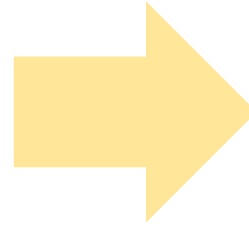


CMOP-Eの視点で見た変化



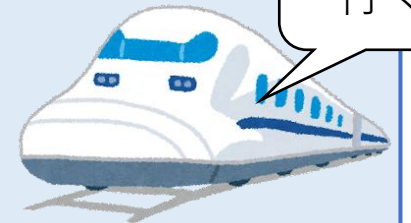
介入前

- **環境** (物理的) 自宅内のトイレ .
(社会的) 妻の介助が必要
- **人** (身体的) パーキンソン病
(情緒的) 妻に迷惑をかけたくない
- **作業** (セルフケア) トイレに2時間こもる
- スピリチュアリティ :
夫として頼れる存在

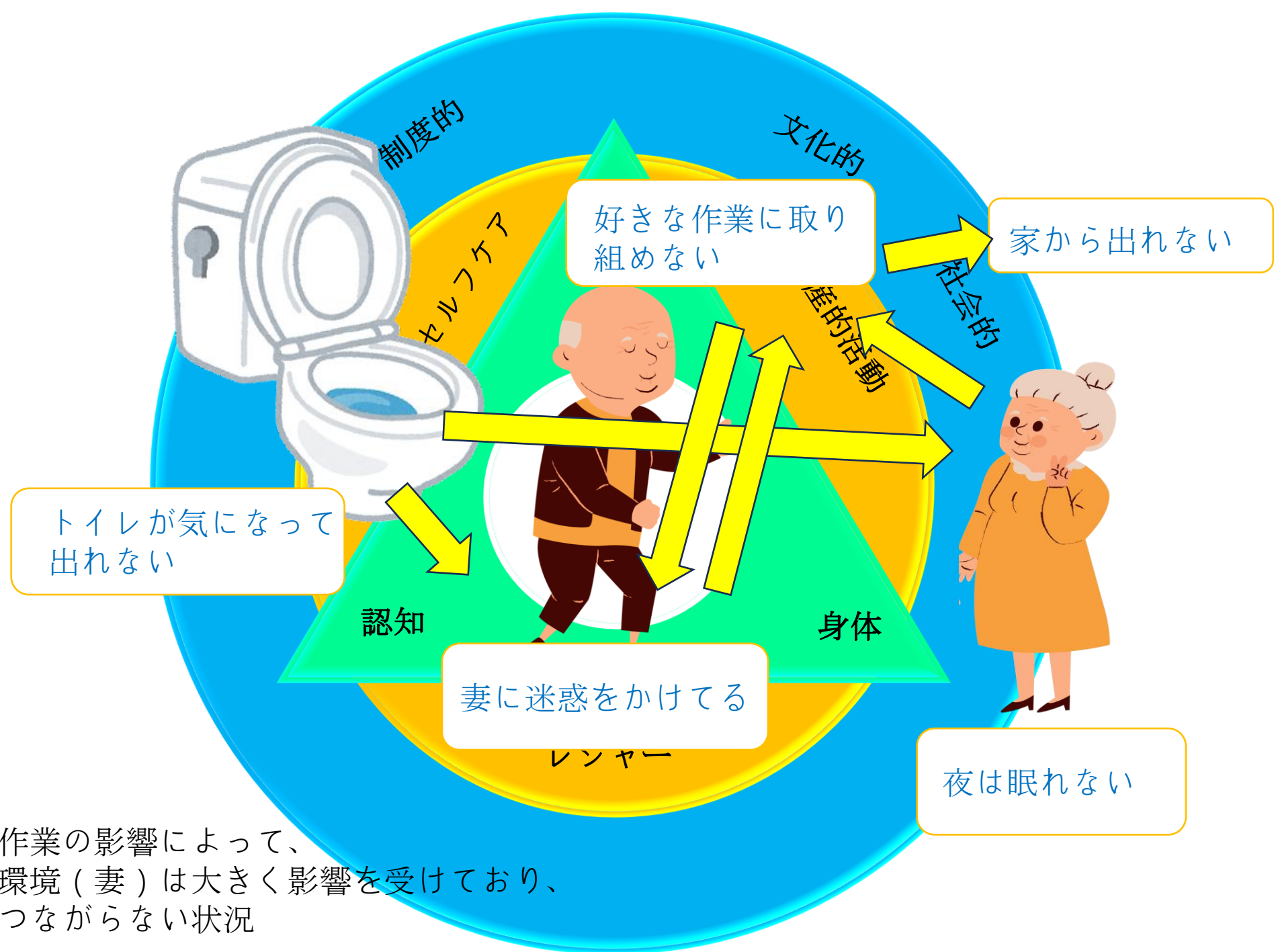


介入後

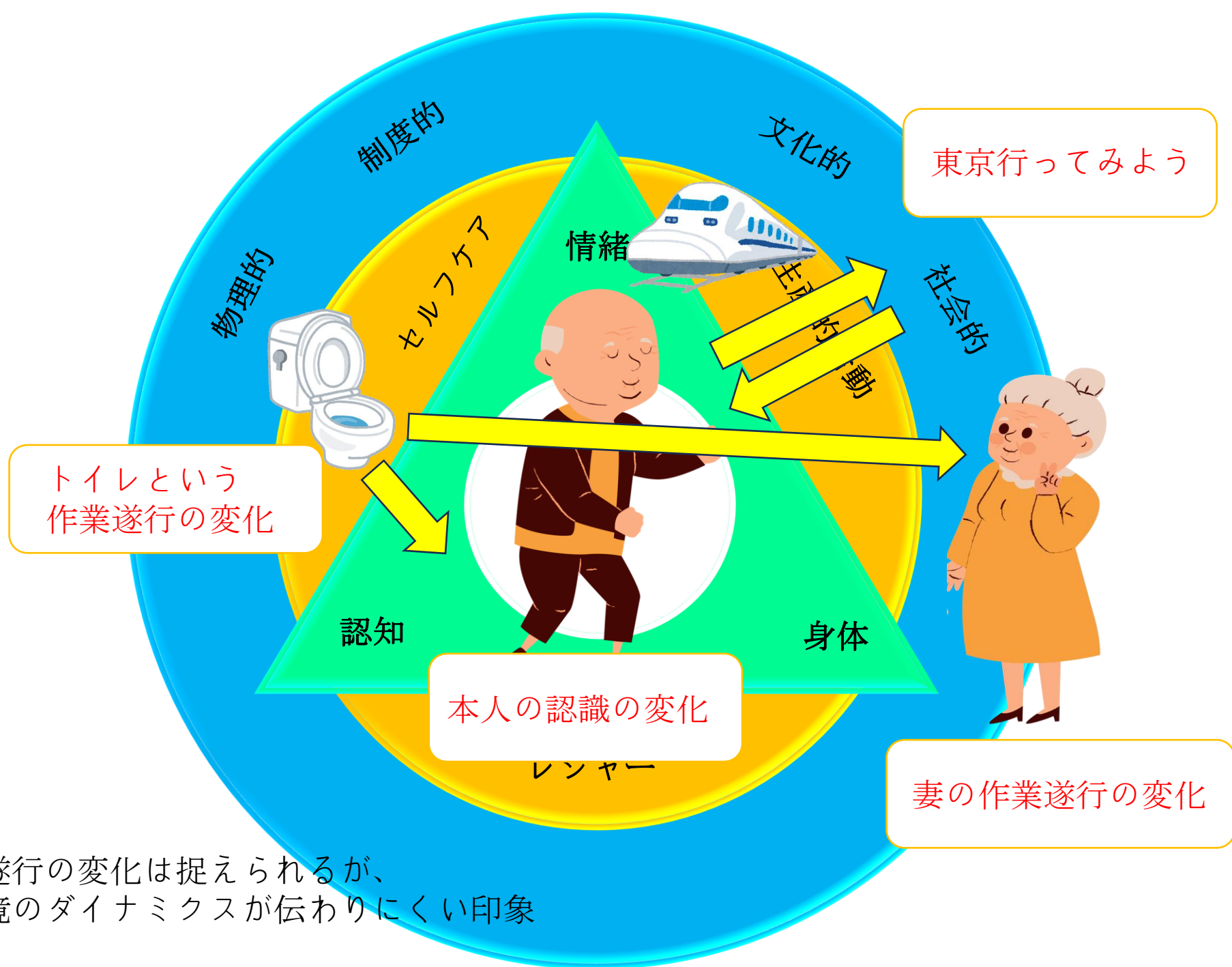
- **環境** (物理的) 自宅内のトイレ
(社会的) **妻が寝れるようになった**
- **人** (身体的) パーキンソン病
(情緒的) **新しい課題に取り組む .**
- **作業** (セルフケア) **夜間トイレ自立**
- スピリチュアリティ :
夫として頼れる存在 .



東京に
行く



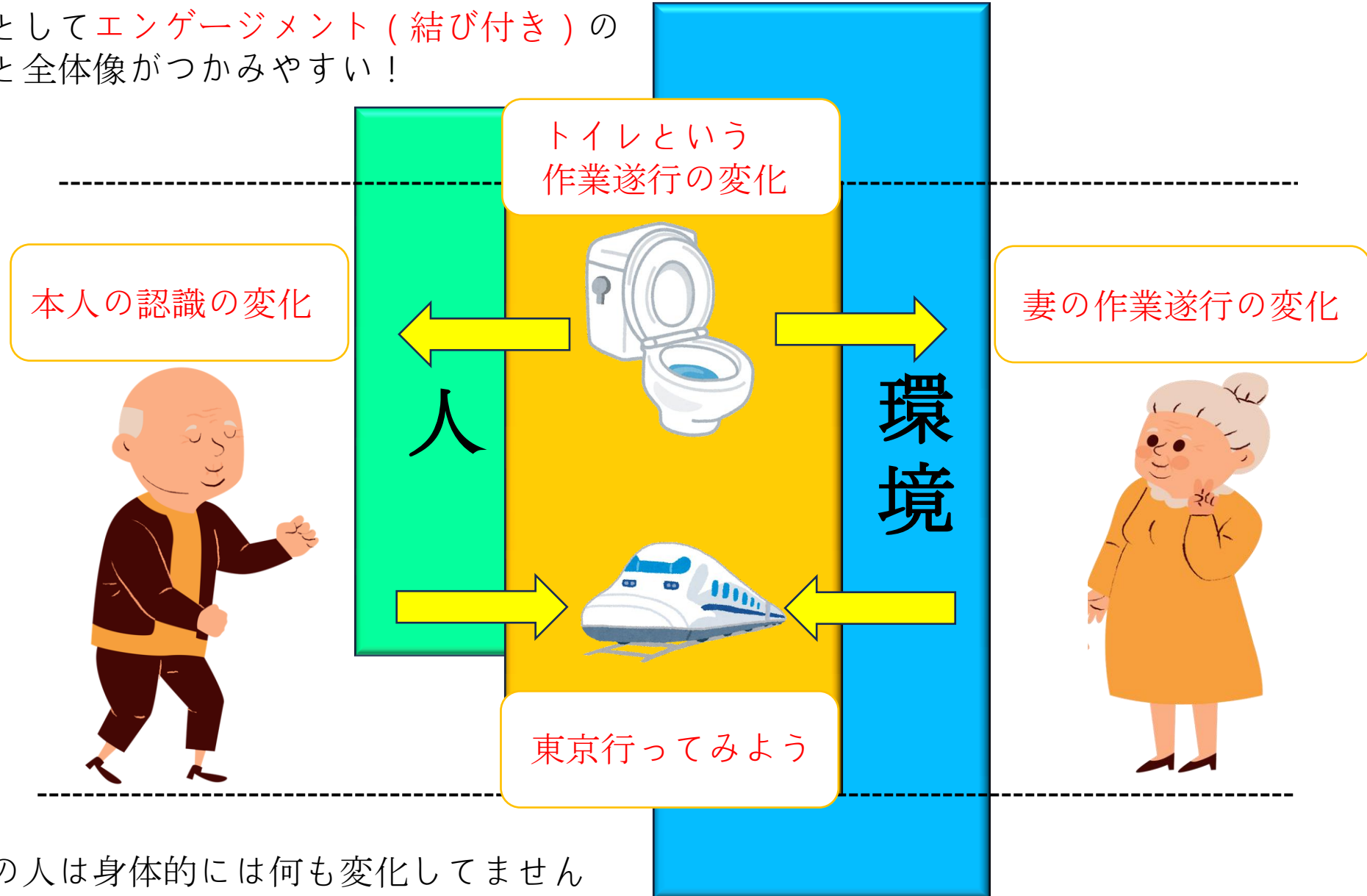
トイレという作業の影響によって、
人（本人）、環境（妻）は大きく影響を受けており、
他の作業にもつながらない状況



CMOPでは、
本事例の作業遂行の変化は捉えられるが、
人ー作業ー環境のダイナミクスが伝わりにくい印象

(断面図)

作業を中心としてエンゲージメント (結び付き) の
視点で見ると全体像がつかみやすい！



ちなみにこの人は身体的には何も変化してません

概念の理解は重要

CMOP-Eは概念であって解決方法ではない

「作業との結び付き」の概念を理解していないと・・・

- ・ COPMで一つの作業にこだわる
- ・ CMCEで適応の意味を誤認
- ・ CPPFでのスタンスの違い

実践する中で概念の感覚を忘れないようにする

